

1. 研究活動

【著書】			
キアラ・ザンボルリン, 水野 留規, & フランチェスカ・ミッショ (共著) 『イタリア語発音トレーニング』《CD付》	2012. 12	東京、白水社	<p>〈内容紹介〉</p> <p>学習者が図版、音声記号を使いながら、母音や子音の聞き分け方や発音のポイントを学ぶことができる練習問題を多く含む発音練習用の教科書。単語や短めの文を声に出して発音しながら、トレーニングを積むことができる。イタリア語らしい表情豊かなイントネーション、詩やアリアの歌詞の朗読にも挑戦できる。</p>

【教科書】			
丸太ミカ & キアラ・ザン ボルリン (共著) 『文法の 手引』	2012. 6	東京、イタリア文化会館 & 朝日出版社	OPERA PRIMA Vol. 2. (東京、イタリア文化 会館～朝日出版社) のイタリア語文法のまと め(ヨーロッパ言語共通参照枠のレベル A1-2)
【学術論文】			
"Un altro orizzonte d' attesa. Implicazioni pragmatico-interculturali nella didattica dell' italiano dell' opera a cantanti lirici giapponesi"	2012. 9	G.Amitrano & S.De Maio ( 偏 著 ) Nuove prospettive di ricerca sul Giappone. Napoli: Università degli Studi di Napoli L'Orientale- Aistugia, pp. 531-544 (査 読有り)	日本人オペラ歌手にオペライタリア語の教え 方についての考察
【研究発表】			
「語学、語用論、異文化間 コミュニケーション」	2013. 2. 20	『第 15 回私の研究を語 る』、名古屋芸術大学、 東キャンパス 1 号館 702 教室、全学図書委員会主 催 (特別研究発表)	NUA における研究・教育についての発表
"Il potere generativo della parola tra poesia e play: Implicazioni didattico- interculturali nel cinema di Roberto Benigni"	2012. 11. 11	Giornata degli Italianisti イタリア語研究者の集 い、東京、イタリア文化 会館 (招待講演)	NUA で担当する講義「異文化入門」におけ るロベルト・ベニーニの映画の教材としての 使用に関する考察

## 2. 教育活動 (教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目 イタリア語 I・II・III	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>◆ イタリア語 I 授業は二つの部分に分けた。 ① 前半 (60 分) 教科書 OPERA PRIMA 1 (CD、DVD 付き) の第 1 課～第 2 課に基づいた授業をおこ なった。 ② 後半 (30 分) 映画『カラヴァッジョ、 天才画家の光と影』(イタリア、2007 年、209 分) を利用した。</p> <p>◆ イタリア語 II 教 科 書 OPERA PRIMA 1 (CD、 DVD 付き) 第 3 課～ 第 4 課に基づき、 正しいイタリア語の発音を身につけ、 文法知識やコミュニケーション能力 を高めることを目標に授業を行った。</p>	<p>◆ イタリア語 I → ①正しいイタリア語 の発音を身につけさせ、文法知識や コミュニケーション能力を高めるよ うに授業を行った。 OPERA PRIMA 1 の CD、DVD を 利用し、Keynote プレゼンテーショ ンを作成した。②映画は、10 回に 分けて利用した。映画を解説し、 天 才 画 家 Michelangelo Merisi da Caravaggio の生涯や作品を学生に紹 介した。</p> <p>◆ イタリア語 II → 現代イタリアポッ プバンド Modà による "Come un pittore" (2010 年 feat. Jarabe de Palo) の名曲を使用し Keynote で audio-visual 教材を作成した。</p>

<p>◆ イタリア語 III 教科書 OPERA PRIMA 1 (CD、DVD 付き) 第5課～第6課に基づき、正しいイタリア語の発音を身につけ、文法知識やコミュニケーション能力を高めることを目標に授業を行った。</p>	<p>※教材作成→Keynote プレゼンテーション、オリジナル問題作成、プログレッシヴ評価 (小テスト3回、4回目のテストは口頭試験)</p>
<p>授業科目 異文化入門・イタリア</p>	
<p>◆前期 ◆後期</p>	
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>
<p>講義のサブタイトル:「笑いながら、泣きながらロベルト・ベニーニの名作を楽しもう」～映画監督、俳優ロベルト・ベニーニの3名作 La vita è bella, Pinocchio, La tigre e la neve に基づいた講義を行った。</p>	<p>講義で使用する教材を作成した。 Chiara Zamborlin (2012) 『愛の三文作～ロベルト・ベニーニの名作の手引～』 (A4 表裏、約 70 頁) ※教材作成→Keynote プレゼンテーション、オリジナル問題、感想カード作成 ※プログレッシヴ評価 (小テスト3回、最終ミニレポート (e-mail での提出))</p>
<p>授業科目 舞台言語表現演習 (大学院)</p>	
<p>◆前期 □後期</p>	
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>
<p>『イタリア語発音トレーニング』に基づき、学生に正しいイタリア語の発音を身につけさせる練習を行った。学生にオペライタリア語を学ばせ、学生が選んだオペラアリアなどの歌詞を解釈した。</p> <p>◆演奏曲目 G.Puccini, "Quando men vo" La Bohème (ソプラノ) G.Puccini, "Mi chiamano Mimi" La Bohème (ソプラノ) G.Puccini, "Vecchia zimarra" La Bohème (バス) W.A.Mozart, "Che disgrazia (Recitativo)" Così fan tutte (ソプラノ) W.A.Mozart, "Una donna a quindici anni," Così fan tutte (ソプラノ) W.A.Mozart, "Non so più" Le nozze di Figaro (ソプラノ) G. Rossini, "La calunnia" Il Barbiere di Siviglia (バス) G.Verdi, "Caro nome" Rigoletto (ソプラノ) G.Verdi, "Quel vecchio maledivami" Rigoletto (バリトン/バス) C.Monteverdi, "Rosa del ciel" Orfeo (カウンターテノール)</p>	<p>完璧なイタリア語の発音で歌わせるようにオペラ教室で10回ピアノ伴奏者を招き学生に歌わせた。学生は一人一人歌っている間にiPadでビデオを撮影した。授業中に学習者はビデオを詳しく分析し、間違いに注意しながらイタリア語の発音を学んだ。</p>

F.G.Hendel, "Dove sei amato bene" Rodelinda (カウンターテノール) A.Parisotti, "Se tu m'ami (カウンターテノール) など	
授業科目 外国語研究 伊語 (大学院)	
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
正しいイタリア語の発音を身につけ、文法知識やコミュニケーション能力を高めることを目標に授業を行った。	※教材作成→オリジナル問題作成、プログレッシヴ評価 (小テスト3回、4回目のテストは口頭試験)

### 3. 学会等および社会における主な活動

International Pragmatics Association	会員	
AISTUGIA	会員	
西日本言語学会	会員	